

増えていく甘えに対して、

どう切り替えるかが要だと思う。

切り替えた上での積極的行動…

そうすれば、少しは違うから。



the pioneer 咲く人

匠の技を伝え学び、常に新しい道を切り開く事で笑顔の花を咲かせる開拓者-Pioneer-。今と未来のTSSを開拓する人物にせまるこのコーナー。第10号は、大窪雅彦氏に登場してもらおう。

甘えたら終わってしまう!

「これでいいや・これ位でいいわあ」と思ったら、その人間はもう終わっている。この言葉が今回の主役、大窪の大切な言葉。社会に出て間もない頃の恩師の言葉で、それ以来、ずっと彼の人生の礎になっている。

「十五年以上、考え続けてる。自分に甘えるなっていうことですよ。…いわば、俺の原点だね(笑)」

恩師の言葉通りに、自身の甘えと向き合い、粘り強さで自身の道を切り開いてきた大窪には、数々の「粘りエピソード」がある。例えば、
の、
端子挿入不具合の解決。十年ほど前の当時は、まだ高速カメラが無かった時代。悩んだ末、家庭用ビデオカメラで撮影することで不具合を検証、解決した。

また、仕事中の事故で負ってしまった左手の腱断裂のリハビリも、知られざる逸話の一つ。メニューは、小さな針状のものを左右に移動させるといふ、一見すると非常に簡単なもの。しかしだからこそ、肉体的苦痛だけでなく、出来ない自分への不甲斐なさや、「元に戻らなかつたら…」と言う不安と向き合わなければならぬ。
「直後は正直、『少し休める…』と(笑)。でも、これをきつかけに、以前より力つきましたよ。利き腕ではない方だったから難しいっていうのもあったけど。…小さいものを移動させるだけなのに…激痛もあつたし。曲がらなくな

るかも知れないとも言われたけど…それを言われた時は、さすがにちよつと心配したね(笑)」

甘えと切り替えの関係性

粘りのある姿勢を持つ人は、気持ちの切り替えが上手な人かもしれない。なぜなら、切り替えられないと、人のせいになったり、逃げ出したりと、どんどん苦しい甘えに溺れてしまうから。甘えと切り替えの関係について、大窪はこう考える。

「歳と共に、甘えは増えていくものだと思う。自分の事だけじゃなくて、仕事とか家庭とか健康…。配慮しなければならぬこと、考えなければいけないことが増えるから。」

「皆同じだと思うけど…家とか他のことでストレスを感じていると、それが仕事に影響する。時にそれが、甘えとなつて出てくる。甘え自体は仕方ないけど、それをどう処理するか、心をどこに持っていくかが要だと。面白いと思うようにしたり、自分の意思でやってみるんだっていう解釈をした。…切り替えた上での積極的な行動しかない。そうすれば、ちよつとは違うから。」

「チャレンジ精神がなくなっていくのも甘えかな…。生きていくと、経験が増えて、そこから学んだデータでやっていくでしょ。効率が良くなるから、やることのボリュームも増えてくる。そうすると、『時間が無くて』とか、あるいは、『経験値が邪魔をして』っていう甘えがね。…人間だからね、難しいな。」

やっぱり切り替えは大事(笑)

最後に、最近の『切り替え』エピソード。二月の半ばから、一日に百円ずつ貯金する、「日百円貯金」を実践中の大窪。単純計算で、一年後には三万六千五百円たまるこの貯金。お金が貯まつてきて、そろそろウハウハ気分なのかと思いきや…。

「二か月で、ストップ…途中滞納したりして(悔)。自分へのボーナスのつもりなのに…滞納のストレスが…(悲)。だけど、またスタートしようかと。今、まさに切り替えようかと(笑)。切り替えが大事です!!!」
(敬称略)



大窪 雅彦
Masahiko Ohkubo

何よりもまず仕事熱心! 寡黙なイメージがあるが、話すすと優しい感じがジワジワとにじみでてくる。面倒見がとっても良く、「時間が無いんだよね～」と言いながら、一日中付き合ってくれることもしばしば。

また大窪のコートは、某刑事ドラマの主人公のものに似ているとの情報あり。事件は現場で起きている!!
(情報提供 夏川さん・篠原さん)